

# 知恩 第35号

## 目 次

I	大田原、常陸大宮方面 慰靈研修旅行	1
II	水戸藩国事殉難者慰靈式を挙行	6
III	2025年(令和7年)の事業について	10



水戸藩国事殉難者慰靈式(令和6年10月13日) 於 曹洞宗壽昌山祇園寺

### I 大田原、常陸大宮方面 慰靈研修旅行

水戸殉難者恩光碑保存会は、2024年(令和6年)6月15日、大田原、常陸大宮方面への慰靈旅行を実施しました。大田原は、戊辰の役で諸生党が会津から水戸に向かう途中、大田原藩や黒羽藩と戦闘があった場所で、地元の人たちにより2ヶ所に戦没者の慰靈碑が建てられています。保存会ではこれらの慰靈碑の参拝を数年前から検討しておりましたが、新型コロナで延びとなり、今回ようやく実施することができました。

大田原への道中には、結城寅寿の墓（御前山、蒼泉寺）、野口郷校跡（御前山）、薄井友右衛門（天狗党の乱で農民兵を率いて活躍）のゆかりの寺（鷺子、照顧寺）、寺門登一郎の墓（天狗党の乱で農民兵を率いて活躍、那珂市、鱗勝院）、市毛善八郎の碑（市川三左衛門従者、渡里町、長者山莊）などがあり、合わせて訪問いたしました。

旅行は新会員2名（石田誠さん、石崎靖也さん）を含む総勢25名が参加し、大盛況でした。市村先生が各史跡を詳しく解説してください、充実した一日となりました。

## ○旅行行程図



## ○訪問先を紹介します

**①野口郷校（時雍館、御前山）**  
水戸藩の郷校の一つ。田中愿蔵が塾長をしていたことで知られる



旧野口小学校に碑

## ②蒼泉寺

(結城寅寿の墓、御前山)



蒼泉寺外觀



結城寅寿の墓

## ③宝寿院

(大田原市片府田)

地元の女性により慰靈碑建立



宝寿院の慰靈碑



ご住職による読経

ご本尊の閻魔様と、閻魔様の台座の弾痕



#### ④佐良土の慰靈碑

(大田原市)

地元の人により慰靈碑が建立されている



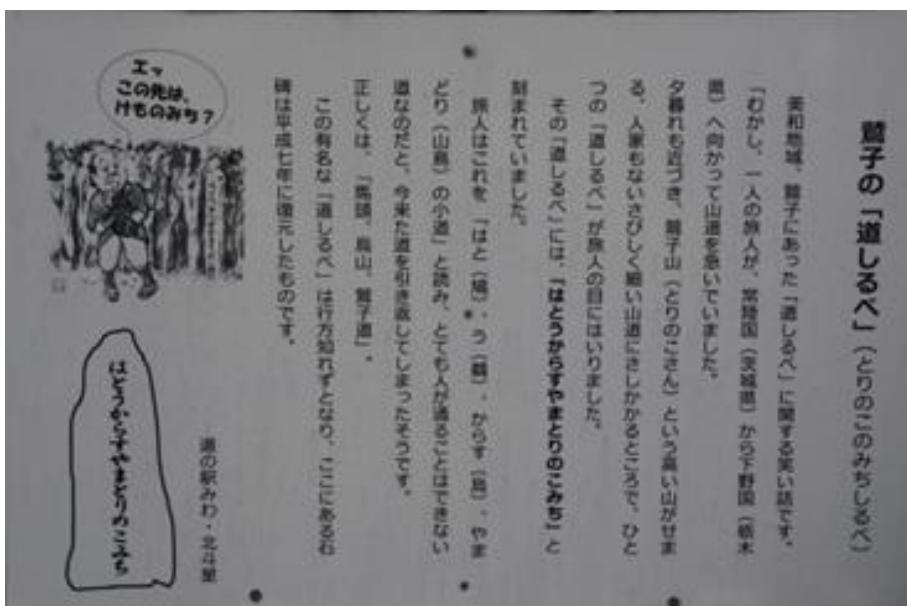
#### ⑤照顧寺 (常陸大宮市鷺子)

薄井友右衛門ゆかりの寺

再興した鐘には友右衛門子孫・沢村貞子らの銘がある



とりのこの道標 (レプリカ)  
馬頭、鳥山、鷺子の三叉路の道  
標が、はと、う、からす、やま  
どりの小道と読め、旅人が引き  
返したという笑い話



⑥寺門登一郎の墓  
(那珂市鱗勝院)

天狗党の乱では農民兵を率いて活躍した。明治維新で捕らえられ、磔となる。



⑦市毛善八郎(市川三左衛門従者)の碑 (水戸市渡里町長者山荘)



弟熊五郎が大正14年に建立

○旅行参加者からのご寄稿を紹介します

今回は全て初めての訪問場所でした。照顧寺訪問、結城寅寿の墓参りができた事は良かったです。いつか薄井友衛門の墓参りに行きたいと思います。市毛善八郎の碑は市毛家の家紋の横に市川家の家紋が彫られていた事は知りませんでした。市毛家についてもっと知りたいと思いました。藩士の墓、慰靈碑に手を合わせる事が唯一自分にできる事だと思います。今後も時間の許す限り参加させて頂きます。有意義な慰靈訪問となりました。

市川達也

今年の夏は尋常ではありませんでした。特に近年は、コロナ禍や異常気象、自然災害等の災厄に多く見舞われました。これらを通して現代は、物質文明から精神文明、靈文明へと転換する時を迎えていたのではないかとそんな想いに駆られています。翻って、我々水戸藩のご先祖様方も相互に止むにやまれる想いで戦火を交えた歴史がありますが、今回関連史跡巡りを通して、我々子孫は言うまでもなく、当時のご先祖様方の想いをしっかりと受け止め、尊い犠牲の上に今の我々があることを深く感謝致さなければなりません。その上で今後は双方ともすべてを内にて昇華統合し、「本来のあるべき水戸藩」として再出発せよと、史跡の向こうから我々に語りかけておられるような気が致してなりませんでした。最後に水戸藩のご先祖様方からの御靈の安らかならんことをお祈りしつつ、この度お骨折り下さいました幹事様方に感謝申し上げます。

小山文子

## II 水戸藩国事殉難者慰靈式を挙行

令和6年10月13日（日）、水戸市の曹洞宗壽昌山祇園寺（小原宜弘住職）において、水戸藩国事殉難者慰靈式を挙行しました。

当日は、恩光碑保存会会員及び来賓、関係者併せて37人のご参加をいただき、祇園寺境内「恩光無辺の碑」前にて、小原住職の読経に始まり、来賓及び参列の皆様方による焼香が執り行われました。

今回は、千葉県匝瑳市の勝又繁副市長が、宮内康幸市長の代理としてご参加くださいました。匝瑳市では地域の皆様が、松山戦争における諸生党の戦死者を碑を建てて手厚くお守りいただいており、感謝に堪えないところです。

また、幕末維新水戸有志を偲ぶ会から、唐笠實事務局長（栗原邦俊会長代理）が、ご参加くださいました。



小原宜弘住職



大森会長・ご来賓の皆様



本会会員・関係者の皆様に多数のご参加をいただきました



千葉県匝瑳市 勝又繁副市長



幕末維新水戸有志を偲ぶ会 唐笠實事務局長



福島伸亨衆議院議員



後藤通子水戸市議会議員



渡邊欽也水戸市議会議員



市村眞一 顧問



榎戸和也桜川市議会議員



小川邦明水戸市歴史文化財課長

焼香の後、大森信明会長の追悼の辞 並びに水戸市の志田晴美教育長により  
高橋靖市長の追悼の辞が奉読され、記念撮影(今号表紙写真)が行われました。



大森信明会長 追悼の辞 奉読



志田晴美教育長 追悼の辞 奉読

式典終了後、お清めの部に入り、大森会長あいさつ、祝電紹介に続き、福島伸亨衆議院議員、唐笠實「偲ぶ会」事務局長はじめ来賓の方々からごあいさつをいただきました。



大森会長



福島衆議院議員



偲ぶ会 唐笠事務局長



後藤水戸市議会議員



市村眞一顧問



榎戸桜川市議会議員

お清め後、第三部として、市村眞一  
一本会顧問・茨城県近現代史研究会  
名誉会長から、「画聖・横山大観と  
角聖・常陸山の親は諸生派」と題してご講演をいただきました。常陸山は  
今年が生誕150年となることからも、興味深くお話を伺うことができました。



## 画聖・横山大観と角聖・常陸山の親は諸生派

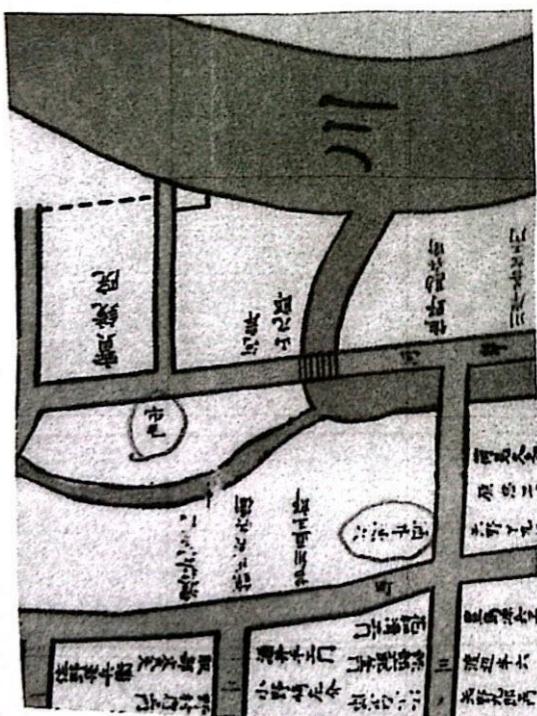
### 1) 横山大観 (慶応4年~昭和33年)

大観は、三之町から川崎町の交差する（水戸市城東）水戸藩武家屋敷の一角にある藩士・酒井捨彦の長男として生まれた。名は秀麿。明治になり、東京美術学校に入学する際、縁戚の横山家の養子となり、横山大観と名乗る。一説によると、父捨彦は尊攘派の尊王思想家で、大観はその影響を受けて尊王思想を持つようになったという。だが、藩士の経歴をまとめた水府系纂をみると、捨彦は諸生派で元治元年の天狗諸生の戦いでは、市川三左衛門に属して天狗党と戦っていると記されている。したがって、こちらが正しいと思う。大観の生家跡には記念碑が建っているが、生誕地は、さまざまなものがあるので、紹介する。

## 2) 常陸山 (明治7~大正11)

水戸藩の武家屋敷の一角、宝鏡院前の河岸通りをはさんだ向かい側（水戸市城東）で、藩士・市毛高成の長男として生まれた。本名は谷。水府系纂によると、高成の父高矩は文久元年に馬廻格となり、元治元年に渡辺半介に従い、天狗党から城下を守る。同年10月大番組となり、天狗党を追討、太田まで追撃し、11月に帰る。6男がいて、長男金太郎某（水府系纂による）は元治元年8月、市川三左衛門に従い天狗党を追討し、山田村（常陸太田市）まで行き、11月に帰る。市毛家は代々武術家として知られ、高成も北辰一刀流の剣術師範や弓術師範を務めている。ただ、高成は、明治になり、立場を変えて山口正定（本園寺勢幹部）配下となり、諸生派の市川勢を北越まで追討に出たとの説もある。

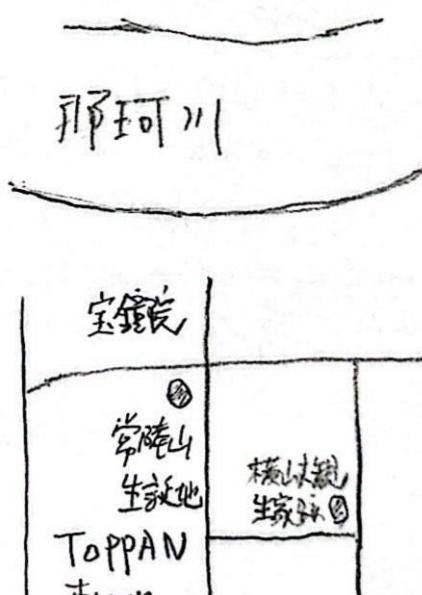
### 3) 酒井家と市毛家の位置関係



天保年間 城下図より



### 常陸山生誕地に建つ銅像



### 日本の地圖



常陸山の墓(市毛家)  
(酒門共有墓地)



東京・谷中  
靈園に建つ  
横山大觀の  
墓(上)と常  
陸山(出羽海  
谷衛門)の墓  
(左) : 大森  
会長撮影



## 水戸市城東 大觀生家跡に 建つ記念碑と 説明板



### III 2025年(令和7年)の事業について

現在検討している来年度の事業についてお知らせします。  
今後の諸情勢により変更があり得るものですので、ご了承願います。

- 1) 総会 2025年3月29日(土) 13~15時、祇園寺にて
- 2) 会報発行(5月頃、11月頃の2回を予定)
- 3) 水戸近郊の史跡訪問(6月頃の週末で計画)  
訪問先(案)
  - ①神応寺、水戸市文化財「慷慨淋漓(こうがいりんり)の碑・拓本」見学
  - ②長岡原の刑場跡参拝
  - ③赤沼の獄舎跡参拝
  - ④朝比奈知泉先生墓参(酒門共同墓地)及び酒門共同墓地の紹介
  - ⑤筧助太夫墓参(善重寺、酒門共同墓地隣接)
  - ⑥市川三左衛門慰靈碑参拝・蓮乗寺
  - ⑦鈴木石見守墓参・薬王院、他
- 4) 東臯忌(祇園寺開祖様供養)参列、2025年9月30日
- 5) 2026年の行事立案(新潟灰爪の史跡訪問を検討中)



#### ★編集後記

○大田原、常陸大宮方面 慰靈研修旅行 及び  
水戸藩国事殉難者慰靈式 それぞれご参加くださいました皆様、お疲れ様でした。  
匝瑳市副市長様、水戸市・水戸市教育委員会の皆様に深く感謝申し上げます。  
○大森会長は慰靈式典終了後、東京の谷中霊園を訪れ、本会の大恩人である室田義文先生の墓前に、無事慰靈法要を執り行つた旨ご報告しました。  
左の写真が室田先生の墓所になります。  
○またその折、横山大観と常陸山の墓所もお参りできしたことから、9ページの写真2枚を提供していただいたので、併せてご報告します。  
○本会顧問の市村先生には、いつもタイムリーな講話をいただいておりますが、現在、水戸市立博物館で常陸山谷衛門に関する特別展が開催されています。11月24日(日)までの開催です。(樹)



知恩第35号

発行日

発行所

発行人

作成

2024年(令和6年)11月17日

水戸殉難者恩光碑保存会

大森信明

事務局 編集委員会